

普通科目（ 家庭総合 ）の学習指導案 18No.16

1. 指導目標

- (1) 幼児期が心とからだの発達の基礎となる大切な時期であることを理解し、乳幼児とふれあったり、いっしょに遊んだりするための器具やおもちゃについて考える。
- (2) 乳幼児といっしょに遊ぶためのおもちゃを身近にあるものを使って製作するうえで、知的財産の視点から工夫と改善点について考えさせる。

2. 指導項目・内容

	指導項目・内容	時間(分)	指導上の留意点
導 入	・乳幼児の授乳器具や遊ぶためのおもちゃにはどのようなものがあるか考える。	15	・ビデオ教材（乳幼児の授乳の様子、遊んでいる様子等）や実物のおもちゃを用意する。
展 開	・班別に、身近な材料を使って、どのようなおもちゃをつくるか考えさせる。 ・班別に製作するおもちゃについて発表し、さらに改善点がないか、他の班の意見を聞く。 ・おもちゃを使う乳幼児の年齢や安全に遊ぶために配慮すべき点（材料・形状）について考える。 ・知的財産の視点からおもちゃの改善点や新たなおもちゃがないか考えさせる。	80	・乳幼児について対象とする年齢を決めておく。（模造紙や付箋紙の利用、班別学習） ・用意できる身近な材料と製作時間を考慮し、簡単な構造であることに留意する。 ・班別学習を通して討論し、発表させる。（模造紙や付箋紙の利用、班別学習） ・知的財産の視点からおもちゃを考える。（おもちゃ会社の取材）
整 理	・乳幼児の年齢や安全に遊ぶために配慮すべき点では、さらに改善・提案が必要なことを気づかせる。	5	
備 考	「家庭総合」（第一学習社）P50-51「保育実習」 ・発表をまとめるための模造紙や付箋紙の準備。		